

# E N E O S 海外渡航支援事業報告書 (学会渡航)

2025 年 1 月 5 日

工学部・工学研究科修士課程 (どちらか○で囲む)  
所属学科・専攻・回生 分子工学学科・専攻

修士 2 回生

氏 名

宮本 昂

1. 参加期間 2025 年 12 月 15 日 から 2025 年 12 月 20 日

2. 会場 (開催国・場所・機関等)

ハワイ州ホノルル・Hawaii Convention Center & Hilton Hawaiian Village

Pacificchem2025 (国際太平洋科学会議 2025)

3. 発表成果 (概要)

” Photocatalytic conversion of CO<sub>2</sub> over Ag-modified La<sub>2</sub>Ti<sub>2</sub>O<sub>7</sub> under light irradiation above 300 nm”

という題目で, Ag 助触媒を担持した La<sub>2</sub>Ti<sub>2</sub>O<sub>7</sub> の CO<sub>2</sub> 光還元活性と特性評価の結果とその考察について

口頭発表を行った. 会場には, 米国, 韓国, インドなど多くの国から参加者が集まり, 大変興味を持

ていただいたようである. 英語での質疑応答やコミュニケーションに不安を感じる場面もあったが,

相手の意図をくみ取るために質問を重ね, 意思疎通が取れた際は達成感を感じた. ポスター発表会場を

訪れた際には, 海外の研究者の柔軟な発想に驚くとともに, 個々の国々の研究環境の苦労について貴重

な情報交換を経験することができた. 口頭発表での経験を活かし, ポイントを押さえた返答をタイミン

グよく行う力を養うことで, 今後の海外研究者との協働の機会に役立てていきたい.

4. 奨学金の使途

航空券費用(約 20 万円)の一部として使用した.